

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和6年7月18日(2024.7.18)

【公開番号】特開2024-38207(P2024-38207A)

【公開日】令和6年3月19日(2024.3.19)

【年通号数】公開公報(特許)2024-051

【出願番号】特願2023-222543(P2023-222543)

【国際特許分類】

A 24 F 40/465(2020.01)

10

A 24 D 1/20(2020.01)

【F I】

A 24 F 40/465

A 24 D 1/20

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月8日(2024.7.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

喫煙材を加熱して前記喫煙材の少なくとも1つの成分を揮発させるための装置とともに使用するための物品であって、

空洞を画定する属性のある容器と、

前記空洞内の喫煙材の塊と、

前記喫煙材を加熱するために変動磁場の侵入によって加熱可能な加熱材と、
を備え、

前記空洞内の前記喫煙材を加熱することによって発生する揮発した材料が前記空洞から出
ることができるようにするために、前記容器の少なくとも一部分が多孔性であるか、又は
前記容器が貫通延在する少なくとも1つの穴を備える、物品。

30

【請求項2】

前記容器が袋である、請求項1に記載の物品。

【請求項3】

前記容器が前記物品の外面を画定する、請求項1に記載の物品。

【請求項4】

前記加熱材が前記空洞内にある、請求項1に記載の物品。

【請求項5】

前記加熱材が前記喫煙材の塊の中にある、請求項4に記載の物品。

40

【請求項6】

前記喫煙材と前記加熱材との混合物を含む材料を備える、請求項4に記載の物品。

【請求項7】

前記加熱材が複数の素子の形態であり、前記混合物が前記喫煙材と前記複数の素子とを含
み、前記複数の素子のそれぞれが変動磁場の侵入によって加熱可能な加熱材を備える、請
求項6に記載の物品。

【請求項8】

前記容器を形成する材料が、前記喫煙材を加熱するために変動磁場の侵入によって加熱可
能な加熱材を含まない、請求項1に記載の物品。

50

【請求項 9】

前記容器を形成する材料が前記加熱材を含む、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 10】

前記加熱材が前記喫煙材と接触している、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 11】

前記加熱材が、導電性材料、磁性材料、及び磁性導電材料からなる群から選択された 1 つ以上の材料を含む、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 12】

前記加熱材が金属又は金属合金を含む、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 13】

前記容器が網を含む、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 14】

前記容器が、フリース、ビスコース、不織布材料、不織フリース、織物材料、編物材料、ナイロン、及びポリエチレンからなる群から選択された 1 つ以上の多孔性の材料から作られている、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 15】

前記喫煙材がタバコ又は 1 つ以上の保湿剤を含む、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 16】

前記喫煙材がゲル又はゲル化シートを備える、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 17】

前記加熱材が板、片又はリボンを備える、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 18】

前記加熱材が前記加熱材の少なくとも一部分に触媒材料を備える、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 19】

喫煙材を加熱して前記喫煙材の少なくとも 1 つの成分を揮発させるための装置と、空洞を画定する容器、及び前記空洞内の喫煙材の塊を備える、前記装置とともに使用するための物品と、

を備えるシステムであって、

前記装置が、前記物品の少なくとも一部分を受け入れるための加熱領域と、前記物品の前記一部分が前記加熱領域内にあるとき、前記喫煙材を加熱するのに使用される変動磁場を発生させるための磁場発生器とを備え、

前記容器は展性があり、

前記空洞内の前記喫煙材を加熱することによって発生する揮発した材料が前記空洞から出ることができるようにするために、前記容器の少なくとも一部分が多孔性であるか、又は前記容器が貫通延在する少なくとも 1 つの開口部を備える、システム。

【請求項 20】

前記物品が、前記物品の前記一部分が加熱領域内にあるとき、前記喫煙材を加熱するため前記変動磁場の侵入によって加熱可能な加熱材を備える、請求項 19 に記載のシステム。

10

20

30

40

50